

ステップ5 クリスチャンとは？

Q: クリスチャンになるとはどのような事だと思いますか？クリスチャンと他の人にはどのような違いがあると思いますか？

このステップでは「クリスチャンとは何か」そして「クリスチャンになると人生はどう変わるのか」を考えていきます。聖書は、クリスチャンになることで人生に起こる素晴らしい変化について語っています。クリスチャンとは...

- 神の子ども
- 赦されている
- 愛されている
- 義とされている
- 聖なる者とされている
- 新しく生まれている
- 選ばれている
- 贖われている
- 神と和解している
- 自由
- 救われている
- 新しい創造

さらに、まだまだあります！¹

この一つ一つについて言えることは沢山あります。しかしここでは、クリスチャンがイエスの弟子であるということに焦点を当てて学んでいきましょう。これこそ、特に実践的で土台となるクリスチャンの特徴です。

弟子とは？

Step 5 What is a Christian?

Q: What do you think it means to be a Christian? What are some differences you observe between Christians and non-Christians?

This section will answer “What is a Christian?” and “How would my life change if I became a Christian?” The Bible tells us many incredible ways someone’s life changes when they become a Christian. A Christian is:

- a child of God
- forgiven
- loved
- justified
- sanctified
- born again
- chosen
- redeemed
- reconciled
- free
- saved
- a new creation

and more!²²

A lot could be said about all of these amazing realities. But let’s focus on one practical and fundamental aspect of what it means to be a Christian. *A Christian is a disciple of Jesus.*

¹ヨハネの福音書 1章12節、エペソ人への手紙 1章4-6節、ローマ人への手紙 3章24節、コリント人への手紙 第一 6章11節、テトスへの手紙 3章5節、コリント人への手紙 第二 5章18節、ヨハネの福音書 8章36節、エペソ人への手紙 2章8節、コリント人への手紙 第二 5章17節を参照。

²²John 1:12, Ephesians 1:4-6, Romans 3:24, 1 Corinthians 6:11, Titus 3:5, 2 Corinthians 5:18, John 8:36, Ephesians 2:8, 2 Corinthians 5:17

一般的に弟子とは生徒や見習いのように、誰かに従って学ぶ存在です。ですから、弟子には師匠や教師、模範となる生き方などが必要です。例えば今の社会でも、職人などは師匠に弟子入りして知識と技術を身につけようとします。イエスの時代の1世紀のパレスチナでは「ラビ」と呼ばれる旧約聖書の教師が弟子を取っていました。

同じようにイエスも「自分について来るように」と人々に言いました。この言葉は弟子になるようにと人々を招くときに使う言葉でした。

マルコの福音書 1章16-20節、2章14節

イエスはガリラヤ湖のほとりを通り、シモンとシモンの兄弟アンデレが、湖で網を打っているのをご覧になった。彼らは漁師であった。イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」すると、彼らはすぐに網を捨てて、イエスに従った。また少し先に行き、ゼベダイの子ヤコブと、その兄弟ヨハネをご覧になった。彼らは舟の中で網を繕っていた。イエスはすぐに彼らをお呼びになった。すると彼らは、父ゼベダイを雇い人たちとともに舟に残して、イエスの後について行った。...イエスは道を通りながら、アルパヨの子レビが収税所に座っているのを見て、「わたしについて来なさい」と言われた。すると、彼は立ち上がってイエスに従った。

この後、十字架にかかって死に、復活したイエスは、さらに多くの人々をイエスの弟子にするという使命を弟子たちに与えました。

マタイの福音書 28章18-20節

イエスは近づいて来て、[弟子たち]にこう言われた。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見

What is a disciple?

Generally speaking, a disciple is a learner, a follower, a student, or an apprentice. Disciples follow a master, a teacher, or a way of life. For example, in today's society, a craftsman or an artisan may accept a disciple who will apprentice under the master until the disciple acquires the skills and knowledge of the master. In first-century Palestine, where Jesus lived, religious teachers of the Old Testament called "rabbis" accepted disciples like spiritual protégés.

Likewise, Jesus invited people to **follow** him, which was a way to invite someone to become one's disciple.

Mark 1:16-20, 2:14

Passing alongside the Sea of Galilee, he saw Simon and Andrew the brother of Simon casting a net into the sea, for they were fishermen. And Jesus said to them, "Follow me, and I will make you become fishers of men." And immediately they left their nets and followed him. And going on a little farther, he saw James the son of Zebedee and John his brother, who were in their boat mending the nets. And immediately he called them, and they left their father Zebedee in the boat with the hired servants and followed him. ... And as he passed by, he saw Levi the son of Alphaeus sitting at the tax booth, and he said to him, "Follow me." And he rose and followed him.

Later, after Jesus rose from the dead, he commissioned his disciples to **make disciples** (disciples of Jesus, not disciples of themselves).

よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

Q: 誰かに弟子入りしたり、それに似た形で何かを学んだことがありますか？弟子としての学びにはどのような特徴がありますか？

イエスはどのようなラビか？

イエスが弟子たちを招いたことは、ある意味では当時の文化でよく見られたラビと弟子の関係に似ています。しかし、しっかり見ていくと、イエスと弟子たちとの関係が型破りだったことがわかります。

例えば、イエスは弟子たちと親密な関係を持ちました。弟子たちを愛して、友と呼びました。² また、イエスはただの教師ではありませんでした。イエスは神の現れであり、神の国の真の王でした。弟子たちにとってイエスは教師以上の存在であり、イエスを主や神と呼んでいます。³ イエスの生き方は数多くある生き方の1つではなく、本当の意味で人間として生きるための唯一の生き方です。イエスは弟子となる全ての人に、人生の全てを捧げてイエスの権威に従うようにと求めています。

ルカの福音書 9章23節

イエスは皆に言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。」⁴

Matthew 28:18-20

And Jesus came and said to them, "All authority in heaven and on earth has been given to me. Go therefore and make disciples of all nations, baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit, teaching them to observe all that I have commanded you. And behold, I am with you always, to the end of the age."

Q: Have you ever acquired skills or knowledge in a way similar to apprenticeship? What are some characteristics to learning in this way?

What kind of rabbi was Jesus?

In some ways, Jesus' calling of disciples resembled the traditional rabbi-disciple relationship in his cultural context. However, in many more ways, he broke the mold.

For example, Jesus invited his disciples into a close relationship. He loved them and called them his friends.²³ Jesus was more than a teacher, he was the embodiment of God, and he was the True King of God's Kingdom. For disciples of Jesus, he is called not only their teacher; they call him their Lord and God.²⁴ For Jesus' disciples and for us today, the way of Jesus is not merely one of many different ways to live; it is the genuine way to be truly human. Jesus requires anyone who would become his

²ヨハネの福音書 15章13-15節「人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。わたしが命じることを行うなら、あなたがたはわたしの友です。わたしはもう、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべなら主人が何をするのか知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。父から聞いたことをすべて、あなたがたには知らせたからです。」

³ヨハネの福音書 20章28節を参照。

⁴同時にルカの福音書 9章57-62節も参照。

²³John 15:13-15

²⁴John 20:28

イエスが弟子として招いたのはどのような人々か？

イエスの弟子になることは全てを捧げるのですが、イエスはどんな人でも弟子となるように招いてくれます。

当時のラビたちは普通、優秀な人だけを弟子として選びました。それは、社会的に地位が高い人、お金持ち、頭が良い人たちなどです。しかしイエスはどんな立場の人でも弟子として求めて招いてくれます。イエスは宗教的にも社会的にも、のけ者にされていた人たちや、当時の社会では回復不可能な罪人だと思われていた収税人や売春婦を弟子として招きました。

ですから、弟子たちに何か良い部分があったからイエスが弟子として選んでくれたわけではありません。それは今でも一緒に、イエスはただ恵みによって私たちが弟子としてくれます。

コリント人への手紙 第一 1章26-29節

兄弟たち、自分たちの召しのことを考えてみなさい。人間的に見れば知者は多くはなく、力ある者も多くはなく、身分の高い者も多くはありません。しかし神は、知恵ある者を恥じ入らせるために、この世の愚かな者を選び、強い者を恥じ入らせるために、この世の弱者を選ばれました。有るものを無いものとするために、この世の取るに足りない者や見下されている者、すなわち無に等しい者を神は選ばれたのです。肉なる者がだれも神の御前で誇る事が無いようにするためです。

イエスの弟子になるためには、聖書の知識検定に合格することも、良い人間であると証明することも、善行を積むことも必要ありません。イエスを信じて、イエスを主と告白することで、私たちはイエスの弟子として歩み始めます。⁵

disciple to submit every aspect of their life to his authority.

Luke 9:23

And he said to all, "If anyone would come after me, let him deny himself and take up his cross daily and follow me."²⁵

What kind of disciples did Jesus call?

Though Jesus' standards for his disciples are high, anyone and everyone are invited to become his disciple.

Typically, rabbis only accepted the best of the best as their disciples—the social elites, the wealthy, and the intellectually advanced. Jesus, however, sought and invited men and women of all social classes. Jesus even called people who were considered religious and social outcasts and people that society labeled irredeemable “sinners”—tax collectors and prostitutes.

Therefore, Jesus' election of his disciples was unconditional. And that is still how he invites people to follow him today—by undeserved grace.

1 Corinthians 1:26-29

For consider your calling, brothers: not many of you were wise according to worldly standards, not many were powerful, not many were of noble birth. But God chose what is foolish in the world to shame the wise; God chose what is weak in the world to shame the strong; God chose what is low and despised in the world, even things that

⁵ローマ人への手紙 10章9節を参照。さらに学ぶためには、「弟子として歩み出す：洗礼準備ガイド」を参照。

²⁵See also Luke 9:57-62

現代の私たちはどのようにイエスに従うのか？

イエスが地上にいたときに、弟子たちがどのように従っていたのかは想像しやすいかも知れません。彼らはイエスと一緒に旅をして、食事をしました。何をやる時もイエスと一緒にでした。イエスの教えを直に聞き、質問し、イエスの生き方を間近で見て真似ることができました。では、今の私たちはどうすれば良いのでしょうか。イエスを直接見たり、声を聞いたりできない私たちは、どのように弟子として従えるのでしょうか。

その答えは、イエスが聖霊を通して今も弟子たちと一緒にいてくれることにあります。十字架にかけられる少し前に、イエスは弟子たちにこのように伝えました。

ヨハネの福音書 14章16-23節

「そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてください。この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないので、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知っています。この方はあなたがたとともにおられ、また、あなたがたのうちにおられるようになります。わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。あなたがたのところに戻って来ます。あと少しで、世はもうわたしを見なくなります。しかし、あなたがたはわたしを見ます。わたしが生き、あなたがたも生きることになるからです。その日には、わたしが父のうちに、あなたがたがわたしのうちに、そしてわたしがあなたがたのうちにいることが、あなたがたに分かります。わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛している人です。わたしを愛している人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身をその人に現します。」イスカリオテでないほうのユダがイエスに言った。「主よ。私たちにはご自分を現そうとなさるのに、世にはそうならぬのは、どうしてですか。」イエスは彼に答えられた。「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みま

are not, to bring to nothing things that are, so that no human being might boast in the presence of God.

In order to become a disciple of Jesus, you do not have to pass a strenuous Bible knowledge exam, demonstrate good moral character, or perform charitable deeds. Becoming a disciple starts with believing in Jesus and confessing him as your Lord.²⁶

How can we follow Jesus today?

We might be able to imagine what it was like for Jesus' disciples to follow him while he was physically present on earth. They traveled with him and ate with him. They did everything with him. They could listen to his teaching, ask him questions, and watch how he lived so that they could imitate him. But what about today? How can we follow Jesus as his disciples if we cannot see him or hear him?

The answer is that Jesus is present with his disciples today in the person of the Holy Spirit. Shortly before Jesus was crucified, he spoke to his disciples about this.

John 14:16-23

"And I will ask the Father, and he will give you another Helper, to be with you forever, even the Spirit of truth, whom the world cannot receive, because it neither sees him nor knows him. You know him, for he dwells with you and will be in you. I will not leave you as orphans; I will come to you. Yet a little while and the world will see me no more, but you will see me. Because I live, you also will live. In that day you will know

²⁶Romans 10:9. To learn more, see: *Beginning to Walk as a Disciple: A Baptism Preparation Guide.*

す。」

ここでイエスが教えているのは、イエスが死んで復活して天の父のもとに上った後にも、聖霊を通して弟子たちと共にいるということです。しかもイエスは、肉体的にイエスが一緒にいるよりも、聖霊を通して一緒にいる方がいいんだと言っています。⁶

だからこそ、イエスが天に帰った後もクリスチャンは自分のことをイエスの弟子と呼び続けたと聖書の「使徒の働き」に書かれています。中には、もうここにはいない死人の弟子であるとはどういうことだと思った人もいるでしょう。けれども、復活したイエスは生きていて、当時の弟子たちと共にいたように、現代のイエスの弟子たちとも共にいてくれます。イエスは弟子たちに「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます」と約束しました。⁷

Q: イエスが今もご自身の弟子たちと共にいることを考えると、クリスチャンになることへのあなたの印象は変わりますか？

イエスの弟子になるとは具体的に どういうことか？

イエスの弟子になることを簡単にまとめると、「イエスと共に過ごす」、「イエスのようになる」、「イエスの働きに参加する」という3つになります。

1. イエスと共に過ごす

イエスの弟子としてのまず最初の目的は、いつもイエスと共に過ごすことです。これは、1世紀の弟子たちが、なるべくいつもラビの側にしようとしたのと似ています。実際には、イエスはいつも弟子たちと共にいてくれます。けれども弟子たちの意識はすぐにそれについていってしまいます。ですから、大切なのは、イエスが共にいることを

that I am in my Father, and you in me, and I in you. Whoever has my commandments and keeps them, he it is who loves me. And he who loves me will be loved by my Father, and I will love him and manifest myself to him." Judas (not Iscariot) said to him, "Lord, how is it that you will manifest yourself to us, and not to the world?" Jesus answered him, "If anyone loves me, he will keep my word, and my Father will love him, and we will come to him and make our home with him."

Jesus taught that after he rose from the dead and ascended to the Father, his presence would continue with his disciples through the Holy Spirit. In fact, Jesus said that his presence with us through the Holy Spirit is better than his physical presence with us.²⁷

This is why, after Jesus returned to heaven, in the book of Acts, Christians still called themselves disciples of Jesus. That might have been odd to some people—how can you be a disciple of a dead person who isn't here anymore? But in fact, Jesus is not dead, he is alive, and he was there with his disciples then, just as he's here with his disciples today. As he said, "I am with you always, to the end of the age."²⁸

Q: How does the concept of Jesus' continuing presence with his disciples impact your impression of what it means to be a Christian?

⁶ ヨハネの福音書 16章7節を参照。

⁷ マタイの福音書 28章20節を参照。

²⁷ John 16:7

²⁸ Matthew 28:20

もっと意識できるようになることです。

イエスも静かな時間を作って、父である神に祈り、神と共に過ごすことの大切さを理解していました。

マルコの福音書 1章35節

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

同じように、イエスが弟子たちを招いたのも、イエスの働きに参加させるためだけではなく、ただイエスの側にいるようにするためでもありました。

マルコの福音書 3章14節

イエスは十二人を任命し、彼らを使徒と呼ばれた。それは、彼らをご自分のそばに置くため、また彼らを遣わして宣教をさせ...

時にイエスは、イエスと一緒に時間を過ごして休息するようにと弟子たちを招きました。

マルコの福音書 6章31-32節

するとイエスは彼らに言われた。「さあ、あなたがただけで、寂しいところへ行って、しばらく休みなさい。」出入りする人が多くて、食事をとる時間さえなかったからである。そこで彼らは、自分たちだけで舟に乗り、寂しいところに行った。

一般的なラビに従って学ぶ弟子の目的は、知識や技術を習得して、いつかは自分自身がラビになることでした。けれども、クリスチャンがイエスから卒業することはありません。イエスは神です。ですから、クリスチャンがイエスと共に時間を過ごす時、それは神と共にいることになります。そして、この神との特別な関係の中で生きることこそ、人間の造られた目的です。⁸

What does living as a disciple of Jesus look like practically?

Being a disciple can be summarized in three areas: be with Jesus, become like Jesus, and join Jesus in his work.

1. Be with Jesus

The first goal of a disciple is to be with Jesus all the time, similarly to how disciples in the first century would strive to be at their rabbi's side. In reality, Jesus is always with his disciples. The problem is disciples often become distracted. This goal is really all about growing in awareness of Jesus' presence with us.

In his earthly life, Jesus knew the importance of finding quiet times and places to be with and **pray** to God his Father.

Mark 1:35

And rising very early in the morning, while it was still dark, he departed and went out to a desolate place, and there he prayed.

Likewise, Jesus called his disciples to both join him in his work and to simply **be with him**.

Mark 3:14 *And he appointed twelve (whom he also named apostles) so that they might be with him and he might send them out to preach...*

⁸ 神と共にいることこそ、私たちが罪の結果として失ったものです。イエスは、私たちと共にいる神としてこの世界にきました。イエスが、私たちが神との関係を回復させてくれ、その関係は今聖霊を通して、そしていずれ来る新しい創造では神が人と共に住むという形で与えられます。

聖書では、意識的にイエスと共に時間を過ごすことを、イエスに「とどまる」と表現しています。

ヨハネの福音書 15章4-5節

わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、自分では実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたもわたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。⁹

イエスの弟子は、祈り、神の言葉である聖書を読むこと、そして礼拝を通して、イエスと共に過ごすことができます。¹⁰

Q: イエスと一緒にいると感じたことはありますか？その時の経験はどのようなものでしたか？

2. イエスのようになる

クリスチャンの目的の2つ目は、イエスのようになることです。ラビの弟子がラビの生き方を真似るように、イエスの弟子もイエスが生きたように生きようとします。イエスのように生きる(歩む)ことは、イエスと共に過ごす(とどまる)ことから自然に溢れ出てきます。

ヨハネの手紙 第一 2章6節

神のうちにとどまっていると言う人は、自分もイエスが歩まれたように歩まなければなりません。

Occasionally, Jesus invited his disciples to come away with him to rest in his presence.

Mark 6:31-32

And he said to them, "Come away by yourselves to a desolate place and rest a while." For many were coming and going, and they had no leisure even to eat. And they went away in the boat to a desolate place by themselves.

Disciples of typical rabbis sought to be with their rabbi so that they might acquire his knowledge and skill and one day leave him to become a rabbi themselves. In contrast, Christians never graduate from Jesus! Rather, because of who Jesus is, when disciples are with Jesus, they are with God. And being in a *special relationship* with God is what humans were made for.²⁹

The practice of consciously being in Jesus' presence is part of the Biblical concept of **abiding** in Jesus.

John 15:4-5

*Abide in me, and I in you. As the branch cannot bear fruit by itself, unless it abides in the vine, neither can you, unless you abide in me. I am the vine; you are the branches. Whoever abides in me and I in him, he it is that bears much fruit, for apart from me you can do nothing.*³⁰

⁹ヨハネの福音書 15章1-8節と17章24節を参照。

¹⁰ イエスと共に過ごす方法はたくさんありますが、その中で祈り、聖書を読むこと、礼拝は基本であり、土台となるものです。具体的にどのようなことをするのかは、ネクストステップを参照。

²⁹Being in God's presence is what was lost because of sin. Jesus came as the personal presence of God and through him we are restored to the presence of God—now through his Spirit with us, and eventually God will make his dwelling with humans on earth in the New Creation!

³⁰See all of John 15:1-8 & 17:24

クリスチャンはイエスに似たものへと成長し続けていきます。それは、話し方も、行動も、考え方も、感情も毎日イエスのように変えられていくことです。イエスのようになることは、もっと道徳的で正しい人になることだけではなく、人間としての正しいあり方を身につけることです。イエスが神でありながらも真の人となった方だからこそ、イエスの生き方こそが人間のあるべき生き方の完璧な模範です。そしてイエスの生き方は、神を愛し、人々を愛する生き方です。¹¹

イエスのようになることは、神の愛や救いを得るための手段ではありません。イエスはありのままの私たちを受け入れて、弟子としてくれました。イエスのようになることは、救いの手段ではなく目的なのです。¹²

私たちは、聖霊の働きにより少しずつ変えられてイエスのようになっていきます。それは一生をかけて少しずつ起こります。そして新しい創造で、ついにクリスチャンはイエスの栄光の姿を完全に映し出す者になります。¹³

実際に私たちを変えるのは聖霊の働きですが、私たちは聖霊が働く環境を作り出します。聖霊に火をつけてもらうためには、弟子が薪を準備する必要があります。具体的には、福音を信じて生きる、聖書の教えを学ぶ、クリスチャン同士の交わりに積極的に参加する、霊的な習慣を身につけるといふ4つが霊的に変えられていく基本的な方法です。¹⁴

Disciples of Jesus can practice being with Jesus through prayer, reading God's Word (the Bible), and worship.³¹

Q: Have you ever experienced an awareness of Jesus' presence? What was your experience like?

2. Become like Jesus

The second goal of a Christian is to become like Jesus. Like a student of a rabbi would try to imitate his rabbi's way of life, so disciples of Jesus seek to live as Jesus lived. Living (**walking**) like Jesus flows naturally from being with (**abiding in**) Jesus.

1 John 2:6

...whoever says he abides in him ought to walk in the same way in which he walked.

Christians grow in ever-increasing Christ-likeness—speaking, acting, thinking, and feeling more like Jesus every day. Growing to be like Jesus is not merely about becoming a more ethically or morally upright person. It is about living in a more genuinely human way. Because Jesus is the embodiment of God and the truly human one, his way of life is the perfect example of

¹¹マタイの福音書 22章37-39節「イエスは彼に言われた。『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが、重要な第一の戒めです。「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という第二の戒めも、それと同じように重要です。』」

¹²エペソ人への手紙 2章8-10節を参照。

¹³ローマ人への手紙 8章29-30節「神は、あらかじめ知っている人たちを、御子[イエス]のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです。神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに義と認め、義と認めた人たちにはさらに栄光をお与えになりました。」コリント人への手紙 第二 3章18節「私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」ピリピ人への手紙 1章6節「あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださると、私は確信しています。」ピリピ人への手紙 2章12-13節「こういうわけですから、愛する者たち、あなたがたがいつも従順であったように、私がともにいるときだけでなく、私がいなくても今後はなお従順になり、恐れおののいて自分の救いを達成するよう努めなさい。神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。」

¹⁴ このそれぞれについてネクスト・ステップでより深く学ぶことができます。

³¹ There are many ways to practice being in Jesus' presence. Prayer, Bible reading and worship are three basic and foundational ways. To learn how to practice these steps of discipleship, see Next Steps.

3. イエスの働きに参加する

イエスの弟子の3つ目の目的は、この世界でのイエスの働きに参加することです。イエスは神の国を建てあげるといふ使命を持ってこの世界にきました。神の国の真の王としてイエスは、十字架上で死に復活することで、神の国を地上で正式に始めるという特別な役割を果たしました。そして始まった神の国は、天と同じように、地上でも広げられる必要があります。¹⁵ そしてイエスは、聖霊を通して教会によって、今でもこの世界で神の国を広げるために働いています。

イエスの弟子として私たちがイエスの働きに参加する方法はいくつもありますが、ここでは代表的な3つを紹介します。

弟子を作る

神が王として認められているところでは、人々はイエスにある赦しを信頼し、神を神として敬い、お互いを愛し合います。弟子たちは、イエスの弟子を作ることで、このイエスの働きを広げます。¹⁶ 具体的には、福音を伝え、信じた人に洗礼を授け、弟子となった人にイエスの生き方に従うように教えます。

正義とあわれみを行う

神が王として礼拝されているところでは、不正義は排除されます。イエスの弟子は、力や暴力によってではなく、イエスのように愛と自己犠牲によって正義のために働きます。公正に正しく生き、周りにある不正義について神に訴え(祈り)、愛を持って不正義について人々に訴えかけます(抑圧されている人のために立ち上がります)。

神が王として治めているところでは、空腹は満たされ、仲間はずれの人は温かく迎え入れられ、孤独な人には

what it means to be truly human—to love God and to love others.³²

Becoming more like Jesus is not about earning God's love or salvation. Jesus accepted us and called us to be his disciples just as we were. We are not saved by becoming like Jesus, but we are saved in order to become like Jesus.³³

Becoming like Jesus happens through a process of transformation by the work of the Holy Spirit. This is a gradual process over one's lifetime. In the New Creation, Christians will perfectly reflect the glorious image of Jesus.³⁴

The power for transformation comes from the Spirit, but disciples create the environment where the Spirit will do his work. It is as if disciples prepare the wood, and the Spirit lights the flame. Living by faith in the gospel, devotion to Biblical teaching, pursuing Christian fellowship, and practicing spiritual disciplines are four key elements for spiritual transformation.³⁵

3. Join Jesus in his work

The third goal of a disciple is to join Jesus in his work in the world. Jesus came with a mission—to establish the kingdom of God. As the True King of God's kingdom, he fulfilled his unique task of inaugurating the kingdom by dying for sins and rising from the dead. Though the kingdom has begun, it must now spread on earth as it is in

¹⁵ マタイの福音書 6章10節を参照。

¹⁶ マタイの福音書 28章18-20節を参照。

³² Matthew 22:37-39

³³ Ephesians 2:8-10

³⁴ Romans 8:29-30, 2 Corinthians 3:18, Philippians 1:6, Philippians 2:12-13

³⁵ These are important topics that are discussed in more depth in Next Steps.

寄り添う人が、病人には面倒を見る人がいて、着るものがない人には服が与えられます。イエスの弟子は、必要を抱えている人を助けることであわれみを示します。¹⁷

仕事

イエスが神の国の素晴らしさを広げるのは、私たちの日々の仕事を通してです。先生でも、会計士でも、経営者でも、小さな子どものお母さんでも、あなたの毎日の仕事はイエスの働きの一部です。イエスの弟子として、神が人間に与えた特別な役割を果たしてイエスの働きに参加するために、自分の仕事を行いましょう。¹⁸

多くの場合、「弟子作り」「正義とあわれみ」「仕事」というイエスの働きの3つの側面は繋がっています。私たちは福音を伝え、正義を求めて祈り、あわれみを示し、自分の仕事をする中で、この世界で神の国を広げるイエスの働きに参加します。¹⁹

私たちがイエスの働きに参加するのは、それを通して神に受け入れてもらうためでも、自分が誇れる者になるためでもありません。²⁰ イエスの弟子は神の働きを自分の人生で経験しているからこそ、天と同じように地上でも神の国が広がるように望みます。²¹ ですから、イエスの働きに参加することも、神が私たちに与えてくれている恵みなのです。

Q: このステップを学ぶ中で、イエスについていきたいと強く感じた点がありましたか？どの部分でそう感じましたか？

Q: イエスの弟子になったら、あなたの人生はどのように変わるとお考えですか？

heaven.³⁶ Jesus is still at work in the world today, through his Holy Spirit in his church, advancing the kingdom of God.

Disciples join Jesus in his work in various ways. Here are three:

Making disciples - Where God is acknowledged as King, people will trust his forgiveness in Jesus, honor God as God, and love others. Disciples carry on Jesus' mission by making disciples.³⁷ This includes proclaiming the gospel, baptizing believers, and teaching disciples to obey the way of Jesus.

Justice & Mercy - Where God is worshiped as King, injustice is eliminated. Disciples advance the kingdom's cause of justice, not through force or violence, but in the same way Jesus did—love and self-sacrifice. Disciples live justly, speak to God about the injustice they see (prayer), and speak with love to others about injustice around them (stand up for the cause of the oppressed).

Where God is King, the hungry are fed, outcasts are welcomed in, the lonely are befriended, the sick are cared for, and the naked are clothed. Disciples show mercy by helping those who are in need.³⁸

Vocation - Jesus extends the goodness of his kingdom on earth through our daily vocations—our jobs! Whether you are a teacher, an accountant, a shop owner, or a mother of small children, your daily work is a part of Jesus' work. As a disciple you can do your work in a way to join Jesus in his work

¹⁷ マタイの福音書 25章31-46節を参照。

¹⁸ ステップ 1と4、創世記 1章26-28節、2章15節、ペテロの手紙 第一 2章9-12節、ネクスト・ステップを参照。

¹⁹ 詳しくはネクスト・ステップを参照。

²⁰ エペソ人への手紙 2章8-10節。

²¹ マタイの福音書 18章33節を参照。

³⁶ Matthew 6:10

³⁷ Matthew 28:18-20, quoted above.

³⁸ See Matthew 25:31-46.

Q: イエスは弟子になるようにとあなたを招いています。イエスに従いたいですか？

もう一度、ステップ3で見た以下の質問を考えて、イエスの弟子になりたいかどうか考えてみてください。

- すべてを造った、唯一の真の神を信じますか？
- イエスは神が人となった存在で、世界の真の王であるキリストだと信じますか？
- あなたには罪があり、神の正しいさばきを受けるべき存在だと信じますか？
- イエスがあなたの罪のために十字架にかかって死んだことを信じますか？
- イエスが死から復活したことを信じますか？
- イエスを自分の主として告白しますか？
- あなたは自分の罪を悔い改めますか。そして洗礼を受け、新しいいのちに歩みたいですか？

もしすべての質問への答えが「はい」だったならば、他のクリスチャンや牧師にそれを伝えて、一緒に「弟子として歩み出す：洗礼準備ガイド」を行ってください。

fulfilling the unique role God gave to humanity.³⁹

Often all three of these aspects of Jesus' work, making disciples, justice & mercy, and serving in our vocation, are connected. As we proclaim the good news, pray for justice and practice showing mercy, and work our jobs we join Jesus in his work of advancing his kingdom in the world.⁴⁰

Our motivation for joining Jesus' work is not earning God's acceptance or boasting in our good works.⁴¹ Disciples have experienced God's gracious work in their own lives.⁴² Joining Jesus in the same saving work is a grace. As we join Jesus in his work, we get to be a part of God's kingdom coming on earth as it is in heaven.

Q: As you read this Step, were there any points where you felt you strongly wanted to follow Jesus? Which points prompted this and why?

Q: How would your life be different if you became a disciple of Jesus?

Q: Jesus is inviting you to become his disciple. Will you follow Jesus?

Look again at the following questions from Step 3 and consider if you would like to become Jesus' disciple.

- Do you believe in the one true God, Creator of all things?
- Do you believe that Jesus is the embodiment of the one true God and the world's True King (the Christ)?

³⁹ See Step 1 and 4, Genesis 1:26-28, 2:15, 1 Peter 2:9-12, and Next Steps.

⁴⁰ See Next Steps.

⁴¹ Ephesians 2:8-10

⁴² Matthew 18:33

- Do you believe that you have sinned and deserve just punishment from God?
- Do you believe that Jesus died on the cross for your sins?
- Do you believe that Jesus rose from the dead?
- Do you confess Jesus as your Lord?
- Do you repent of your sins? Do you want to be baptized and walk in newness of life?

If you answered yes to the questions above, tell a Christian friend or a pastor, and ask them about guiding you through *Beginning to Walk as a Disciple: A Baptism Preparation Guide*.